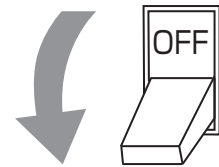


# 停電時の使い方（自立運転）

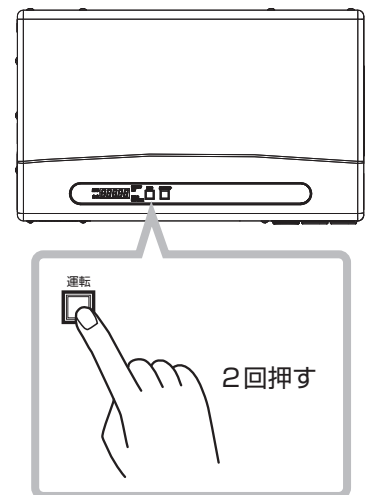
日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に“E 1-0”が表示されます。“E 1-0”表示時に、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。

- 夜間など太陽電池モジュールが発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

## 1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする



## 2 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする



## 3 自立ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

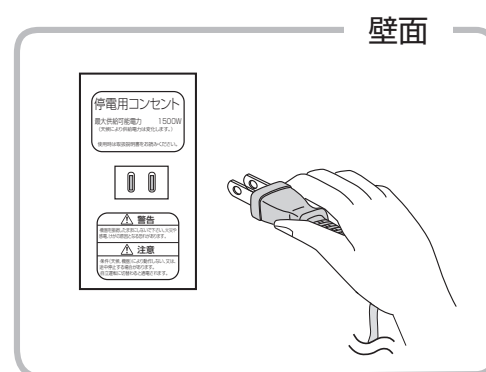
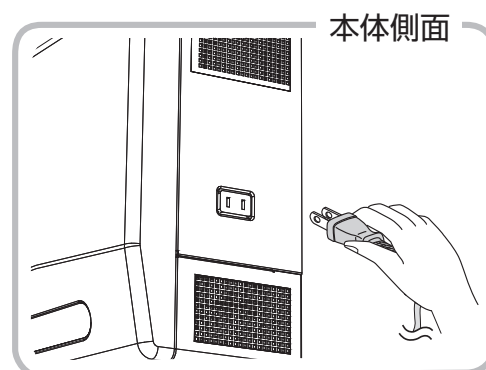
- 表示部には停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続した機器の合計消費電力が表示されます。（何も接続していない場合は、“0.00”が表示されます）



## 停電時の使い方（自立運転）（つづき）

### 4 停電用コンセント（本体側面および壁面）に、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。  
(⇒ 5)
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下  
(AC 100V で最大 15A 以下) になるようにしてください。



### ■ 自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池モジュールの発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、太陽電池モジュールが発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。

- 表示部に「E 1-0」が表示されていたら、太陽電池モジュールは発電を開始しています。
- 夜間など太陽電池モジュールが発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

### お知らせ

- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- 1 運転スイッチを「オフ」にする
- 2 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器を減らす
- 3 運転スイッチを再度「オン」にする

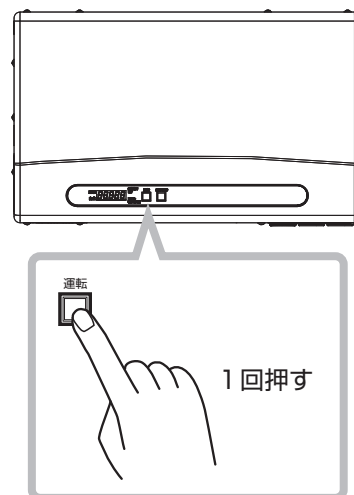
# 復電時の操作（自立運転から連系運転への切り替え）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。

- 連系運転に切り替える際、停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順2のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

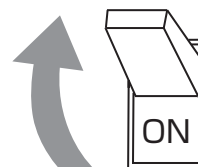
## 1 運転スイッチを「オフ」にする

- 表示部に“E1-D”が表示されます。



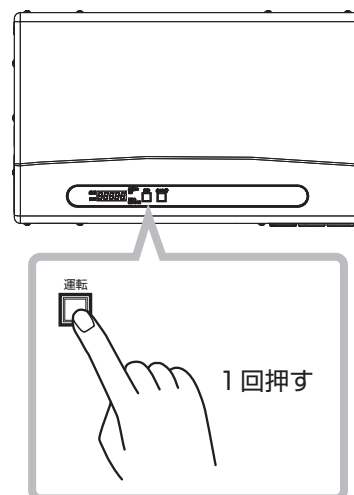
## 2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする

- 表示部にカウントダウンが表示、または“HLD”が点滅します。



## 3 運転スイッチを「オン」にする

- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。



## 4 連系ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 表示部の中央に“.”（ドット）が点灯した後に、現在の発電電力が表示されます。

